

2008年

7月15日（火曜日） - 支え合いの地域づくり委員会 -

今春、本市に「支え合いの地域づくり推進委員会」を設置いたしました。キーパーソンとなる7人の委員の皆様には、昨年3月に策定された「京丹後市地域福祉計画」を実地に推進していく原動力の核心となる"まちづくりを貫通する精神"をかたちに繋げていくための検討をお願いしています。

私達のまちづくりの基本的な柱として、市民の皆様が互いに、支えあい、たすけあい、与えあう、そんな利他の心や喜びがあふれるような、ともに生きる共生のまちづくり、誰ひとり決して置き去りにされることのない市民全員プレーのまちづくりを掲げており、市政のあらゆる分野においてこのような思いを中心においてまちづくりを積み重ねていきたいと思っています。

そんな中、市民の皆様の生活支援のため、各種の福祉制度やいわゆる限界集落、お一人暮らし高齢者世帯への支援、自殺防止の取り組みなどをはじめ、様々な制度上の対応を懸命に尽くしていかなければなりません。市民から信託を受けた行政という大きな力こそ、社会全体の豊かな発展や、何より一番つらく窮されている私達の隣人、仲間、命のために、できることを真剣に探り、支える力を精一杯行使することがとても大切です。

そしてそんな制度的対応と併せて大事なことは、その制度の"心"の部分を一層しっかりと活かしていくことであり、制度に関連して非制度的な無形の社会的土壌の開拓に尽くすことではないかと思うわけですが、その意味で、古来尊ばれてきた諸徳の力に貫かれ、徳の風が吹くような、支え合いの人づくり、場づくり、環境づくりなどの、まちの気風づくり、土壌づくりということが、制度運用に先だつ精神的基礎としてとても大切ではないかと思っています。この委員会においては、制度の問題とともに、まさにこのような気風づくりにつながる、①支え合いの人づくり、②ふれあいの場づくり、③自立を支える環境づくり、④安全・安心な環境づくりについて鋭意ご検討いただくこととしており、利他の心や徳の力の広がる共生のまちづくりをお支えいただく重要な一角として心から期待をしています。